



秋季産業現場等における実習が無事終わりました

9月29日（月）～10月10日（金）の期間中、高等部では秋季産業現場等における実習（現場実習）を実施しました。今回の実習では、高等部1年生から3年生までの21名（参加日数や利用する事業所数は個別に設定しています）が自らの進路と真剣に向き合い、事業所での実習〔アシストゆう、笑流、おひさま、きぼうの家、KEIPE 甲府、甲府市障がい者センター、コスモス、コリード韭崎、ジット会たいよう、スカイコート勝沼、ハナモモ、ばわふる、ひびき、POCO ワークス、みどりの家、みなぼし、山梨授産園、ゆうき工房、yocayoca、リッツ・カンパニー、ワークハウスふたば、わかぎりホーム〕や施設見学を行いました。

10月17日（金）には実習報告会を開催しました。報告会では、校長先生から実習を振り返っての話、また、教頭先生からは実習全体を総括した講評をいただきました。高等部生徒たちからは、それぞれが取り組んだ実習の成果や課題について報告がありました。保護者の皆様にも参加いただき、生徒たちの頑張りを聴いていただきました。

今後は、高等部1・2年生は春季実習に向けて、3年生は卒業後に働く事業所を見据え、準備を進めていきたいと考えています。



ハナモモでの自立課題の様子



山梨授産園での
ウェス作業の様子



みどりの家での
朝の準備の様子



ばわふるでの
散歩の様子



笑流での
リサイクル作業の様子



スカイコート勝沼での
ボウリングの様子



ジット会たいようでの
インクの仕分け作業の様子

実習を頑張り、通学生5人全員が希望の進路先での内定をもらっています。12月末で通学生2名の卒業に向けての移行支援会議（高等部3年生の進路に関わる学校主催の関係者会議）が終了しました。今後、2月末までに残りの通学の生徒3名、訪問学級の生徒2名の移行支援会議も予定していきます。

在宅ワーク体験会を行いました



11月28日に高等部の学校設定科目「産業社会と人間」を履修している生徒4人を対象にテレワークの働き方を体験する特別授業を行いました。

この特別授業は、障害があっても通勤などが難しい場合でもテレワークであれば在宅で働けることを知ってもらおうと、身体障害がある人を雇用している相模原市の企業と連携して行いました。

授業はオンライン会議システムを使って行われ、生徒は企業の社員と一緒にパソコンの表計算ソフトを使ってリストにまとめる作業を体験したり、企業の社員とテレワークについて話を深めたりし、自分たちの将来の働き方を考えるうえで、大変有意義な時間となりました。



『保護者進路学習会』を行います



令和8年2月5日(木)10時00分から11時20分まで、本校多目的室において「保護者進路学習会」を開催いたします。当日は、次の2つのテーマを設定し、前半・後半に分けて実施いたします。(1)『就労選択支援とは何か』 令和7年10月1日より開始された「就労選択支援」について、その目的・内容・進め方を理解するため、山梨県福祉保健部 障害福祉課施設支援担当の土屋勇歩氏を講師にお迎えし、御説明いただきます。(2)『子どものために親としてできること』 昨年度本校を卒業した中山健伸さんのお母様、中山里美氏を講師にお迎えし、現在の生活の様子や医療的ケアに即した在学中の経験などを直接伺い、卒業後の進路を考える機会としたいと考えております。

新しい障害福祉サービス「就労選択支援とは？」



簡単に説明すると、対象者は、①特別支援学校を卒業予定の生徒(就労継続支援A型・B型など)、②一般企業で働きたいが不安がある方、③福祉的就労(就労継続支援A型・B型など)を検討している方、④「どんな仕事が自分に合っているか分からない」方になります。支援内容は、①本人の希望や得意なことの整理、②職場見学や体験(現場実習中を想定)を通じて働くイメージを持たせる、③就労に必要な準備(生活習慣・コミュニケーションなど)の確認となります。ゴールとしては、本人が「自分に合った働き方」を理解し、納得して進路を決定することとなります。⇒詳しくは、2月5日に講師より説明がありますので、ぜひ、御参加ください。